

## 第1回 泉佐野丘陵緑地 運営審議会 概要版

日時：平成29年6月2日（金）14:00～17:00

場所：泉佐野丘陵緑地 パークセンター

### ◆出席委員（敬称略）

大阪府立大学 特認教授 増田昇（会長）

元大阪府立大学大学院 教授 前中久行

和歌山大学 システム工学部 教授 宮川智子

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 加我宏之

和歌山大学 システム工学部 准教授 佐久間康富

うみべの森を育てる会 代表 西台幸子

大輪会事務局 大西弘薫

泉佐野丘陵緑地パーククラブ 代表 那須利之

泉佐野丘陵緑地パーククラブ 副代表 中川有司

泉佐野丘陵緑地パーククラブ 事務局長 永井利治

泉佐野市都市整備部 部長 河合俊二

### ◆欠席委員 なし

### ◆傍聴者 2名

### ◆概要

1. 現地確認（東地区） 14:00～

2. 前回のふりかえり 15:30～

3. 協議案件 1件

①東地区の竹林対策について

4. 報告案件 7件

①プログラム報告（3～5月）、活動計画（6～8月）

②えんづくりプログラムの審査結果について

③養成講座の開催について

④大輪会支援現地説明会の実施及び大輪会理事会について

⑤企業との連携状況について

⑥平成29年度予定について

⑦その他

5. 閉会

## <協議案件1：東地区の竹林対策について>

東地区の竹林対策について、事務局より説明。

- ・ 薬剤は、竹を枯れさせて農地などにするために使われることが多い。一方でこの公園の場合は竹林の扱いについて悩んでいる状況である。枯れた竹は処理しなければならないが、その後どのような景観にしていくのかを考えておく必要が有る。
- ・ 安全管理も重要である。枯れた後の地すべりなど危険性についても考慮する必要がある。
- ・ 基本的には注入方式で行うとよい。散布方式では水に紛れてしまう可能性がある。
- ・ 全ての竹に穴を開けて注入することは難しいので、地下茎を通じて薬剤を浸透させる必要がある。1度の注入で全てに薬剤を行き渡らせるのは無理だと思う。
- ・ 可能であれば次回の運営審議会までに、谷部分に試験的な薬剤注入を行い、その結果を見ることができるとよい。
- ・ 中地区は府民協働で進めてきたが、東地区は違った方法を検討してもよい。例えば、泉州地域を代表するような山桜をクラウドファンディングで残していくという方法もある。プロのカメラマンを入れて、泉州の山裾の文化を発信していくのもよい。泉州地域の山裾に桜が持ち込まれた経緯が書かれた論文もある。
- ・ 国が都市公園法の改訂をしており、民泊などを公園管理にどう位置づけるかといった議論が活発になっている。竹林対策ももちろん大切だが、様々な面で先進事例を目指すもよい。
- ・ 中地区は開園前から府民協働の先進事例として進めてきたが、東地区もそういう点を絶やさないように。
- ・ 例えば秋に、紅葉を見て感動していただけるような一般開放イベントをしてもよい。紅葉を見て回るのであれば、11月末頃がよいと思われる。

## <報告案件2：プログラム報告（3～5月）、活動計画（6～8月）>

大阪府よりプログラムについて、パーククラブより活動計画について報告。

### 那須委員

- ・ パーククラブで中地区の整備を進めるにあたって、計画を作っていくために勉強会を開催したいと考えている。里山の管理に精通した方を講師としてお招きして勉強会を開催したいと考えているが、よい講師がいれば紹介してほしい。
- ・ 以前よりステップアップ講座をするとよいという話があった。年に2～3回は、どのような点でステップアップしたいかという要望に基づいて開催するとよい。
- ・ 水辺の広場、デッキ周辺の木が混み合ってきているので伐採したいと考えている。水辺の広場側からと対岸側の両方からみてマーキングし両側から不要となった樹木を伐採しようと考えている。秋頃からの伐採を考えている。

- ・パーククラブで、ホテルのビオトープづくりを進めている。斜面の通路を階段にして、対岸に渡れる橋も作りたいと考えている。ホテルの調査に協力していただいている大阪府立大学の平井先生とも相談しながら、進めていきたい。

#### **<報告案件2：えんづくりプログラムの審査結果について>**

えんづくりプログラムの審査結果について事務局より報告。

#### **<報告案件3：養成講座の開催について>**

養成講座の開催について事務局より報告。

#### **<報告案件4：大輪会支援現地説明会の実施及び大輪会理事会について>**

大輪会支援現地説明会の実施及び大輪会理事会について事務局より報告。

- ・現地報告会には、池田副会長も出席させていただいた。大輪会理事会の終了後に意見交換会を開催したが、その時に池田副会長より「現地説明会に参加して非常に有用だった」「秋に企業の森活動の現地体験会の開催を予定しているので、是非参加してほしい」旨を伝えていただいた。
- ・継続支援という段階においては、公園づくりの担い手であるパーククラブのスキルアップなどの人づくりを支援の中心にしたいと考えている。

#### **<報告案件5：企業連携について>**

企業連携について事務局より報告。

- ・インバウンドにより状況が変化してきている。海外旅行者も、日本の地域で一緒に活動するといった体験に対する需要が増えてきているようだ。泉佐野市は海外宿泊者が全国第7位と聞いている。泉佐野市には年間90万人の海外宿泊者がいる、

#### **<報告案件6：平成29年度予定について>**

平成29年度予定について事務局より報告。

#### **<報告案件7：その他>**

民活地の状況について商工労働部より報告。

#### **商工労働部**

- ・調査は終了したが、事業者が施行業者を選定中である。

以上